

科目名	子どもを取りまく社会環境と子どもへの関わり		
-----	-----------------------	--	--

担 当 責任者	下村 英毅	所属	小児科	職名	臨床准教授
------------	-------	----	-----	----	-------

到達目標 (アウトカム)	子どもを取りまく社会的な課題に対して医療従事者として介入できることを考えることができる。
-----------------	--

【1. 授業概要】

文部科学省は2024年10月に小学校、中学校における不登校児童生徒の人数が34万人を超えたことを発表した。一方で、少子化は進んでおり2024年の出生数は70万人の下回る可能性が高い。先進国の中で教育にかけられている費用が少ないことも指摘されており、教育現場では少ない資源の中で子どもたちに良い教育を提供するために頭を悩ませている。さて、2000年代に入り小児科医療では神経発達症（発達障害）、不登校などで受診する子どもが増えている。他にはいじめ、虐待、貧困など、医師が教育や福祉と連携している分野も増えており、互いが協力しながら子どもたちに関わっているのが現状である。

本科目ではまずは講師から社会的な課題を提示して、学生が自律的に正確な情報を収集し、現状の課題とそれに対して国や自治体が行っていることを整理していく。その後、医療として何を求められているか、自分たちが何をできるのかを議論することを中心に、一緒に考えていきたい。

【2. 履修学生の心構え】

日常的に医療者の視点から様々な社会的な課題に対して、自分が何をできるのかを考えてもらいたい。本科目においては正解を求めることを重視するのではなく、正確な情報をもとに論理的かつ合理的に考えることを目的としたい。自分の意見を積極的に述べることが求められる。

【3. 成績の評価方法・基準】

授業への積極的な参加（発言など）（30%）
 正確な情報収集と解析・考察（30%）
 議論の質（思考の柔軟性、他者の意見への配慮、批判的思考）（30%）
 レポート（10%）

【4. 教科書・参考書】

特に無し。実習時には資料のWeb検索等を行うので、タブレットやPCを持参してください。

【5. その他 履修要件、履修者へのコメント等】

各実習内容のテーマについて事前に社会的な課題としてどのような情報が世の中で知られているかを予習していただきたい。授業計画に記載されたテーマは暫定的なものであり、当日の議論の続きで次回のテーマは柔軟に変更していく予定である。むしろ学生から積極的に新たなテーマを提示してもらいたい。

授 業 計 画 【水曜開講分用】

実施日	時 限	講義・実習内容	担 当 教 員		
			氏 名	職 名	所 属
4/23 水	5	子どもが生活する社会環境と課題	下村 英毅 他	臨床准教授	小児科
4/30 水	5	不登校からみえてくる子育ての課題	下村 英毅 他	臨床准教授	小児科
5/7 水	5	子育てについて（幼児期～学童期）	下村 英毅 他	臨床准教授	小児科
6/11 水	5	子育てについて（思春期）	下村 英毅 他	臨床准教授	小児科
6/18 水	5	神経発達症について	下村 英毅 他	臨床准教授	小児科
6/25 水	5	境界域知能について	下村 英毅 他	臨床准教授	小児科
7/2 水	5	虐待にどうかかわるか	下村 英毅 他	臨床准教授	小児科
7/9 水	5	医療的ケアが必要な子どもたち	下村 英毅 他	臨床准教授	小児科

